会　議　記　録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会　議　名	令和７年度第１回大島を未来へつなぐ会
開催日時	令和7年12月22日（月）14時45分～16時10分
開催場所	国立療養所大島青松園
議題	(１) 会長、副会長の選任について (２) 会議の公開について (３) 今後の議論の進め方について (４) その他
公開の区分	■　公開　　□　一部公開　　□　非公開
上記理由	
出席委員（18名）	特別参与、委員： 北川特別参与、臼山委員、岡野委員、筧委員、神谷委員、金委員、近藤委員、酒井委員、笹川委員、沢委員、髙橋委員、都谷委員、野村委員、平田委員、森委員 オブザーバー： 高原氏、東樹氏（厚生労働省医政局医療経営支援課）岩倉氏（同省健康・生活衛生局難病対策課）
傍聴者	4人（定員10人）
担当課及び連絡先	政策課　839-2135

会議の経過及び結果
（１）会長、副会長の選任について 大島を未来へつなぐ会設置要綱第５条第１項の規定に基づき、委員の互選により会長及び副会長が選任された。 会長 神谷誠人委員　　副会長 近藤紀子委員 **（２）会議の公開について** 本会は、個人情報等、非公開事項の審議が想定されないため、公開とすることとした。 **（３）今後の議論の進め方について** （事務局：政策課）

配布資料３「今後の議論の進め方について」に沿って、本会の設置に至った経緯、大島青松園将来構想・永続化と新たな大島振興方策の取りまとめイメージ、今後の本会の協議スケジュールについて説明を行った。

まず、本会の設置に至った経緯として、現行の大島振興方策の進捗状況、大島青松園入所者数と平均年齢の推移、瀬戸内国際芸術祭関係者を始めとする島外の人々との交流の活性化、大島青松園入所者自治会の動きについて説明を行った上で、大島を取り巻く環境の変化を踏まえると、大島振興方策の見直しに当たっては、大島青松園の将来的な在り方についても協議する必要がある旨の説明を行った。

次に、大島青松園将来構想・永続化と新たな大島振興方策の取りまとめイメージとして、各用語の趣旨の説明を行ったのち、大島青松園将来構想・永続化と新たな大島振興方策の位置付けについて説明を行い、将来構想・永続化については、本会での議論を踏まえ入所者自治会が策定すること、大島振興方策については、本会での議論を踏まえ高松市が改定することを説明した。

さらに、将来構想・永続化に盛り込むべきものとして、「医療機関としての維持と充実」「社会との共生としての地域開放」「ハンセン病問題・人権啓発の場とすること」の３つの考えを示した。

最後に、今後の協議スケジュールについて、 令和８年度末までに全６回の開催を予定している旨を説明した。

（特別参与）

これまでの瀬戸内国際芸術祭の大島での活動内容や関わりについて説明を行った。

また、入所者が見て楽しい内容であり、大島が世界中の子どもたちが集るような希望のある場所になることを目指し、公園を作ることや、宿泊、キャンプといった取組を実施するなど、長期的な今後の大島の活動内容について検討するために開催している勉強会について説明を行った。

（各委員）

自身の大島との関わりや今後の議論に向けての考え等について紹介した。

以上、入所者の意向や施設の現状を踏まえ、振興方策見直しや将来構想・永続化の具体化に繋げていくことを確認した。

（４）その他

今後の本会の開催スケジュールについて事務局より説明を行った。

（閉会）